

日刊夕刊新聞社発行
一月一頁 二十五銭
三月三頁 七十五銭
半年六頁 一百五十銭
一年十二頁 二百五十銭
郵政省認可
郵務局長 牛谷政喜
印刷所 平井印刷所
〒一〇〇〇
新いわき新聞社

平野の年末貨物 増収五千八百余圓

米も木炭も出廻り圓滑

平野去る十二月中の年末貨物 主なる増量は左記の如くこの
は前月に引續く活況で發送五
六四噸、到着二〇一六噸、
收入一萬九千七百五十六圓を
上げ昨年同様の發送三六八九
より一九五七噸増、到着一六
五七より三五九〇噸増、收
入一三九五二圓より五千八百
四圓を増加した發送各荷別の

工費一萬二千八百で 片倉製糸の女青校舎 建坪四十八坪の總二階

加工講習會は出征軍人遺家族 の授産に去月廿九日から今一 月にかけて八日間同村小學校 に開催一般婦人の受講もあつ て盛會であつた一枚六十銭 の不良皮で市價六圓五十銭 ぐらゐの立派な子供用ショ ルや同四枚つなぎで市價三十 五圓ぐらゐの大人(男)用のく びまきが出来る農村の副業に 好適を喜ばれてゐる

平市の片倉製糸業では四百
餘名の糸姫達の爲めに設けら
れてゐる私立女子青年學校々
舎建築を計畫されてゐるが工
費一萬二千八百圓に對する
本社の承認を得るとともに用
材並び物資その他に關し縣の
認可を得たので同工場寄宿舍
裏の廣場を敷地に來る二月早
々着工の管である同校舎は建
坪(六間に八間)四十八坪の總
二階で遅くも三月初めまでに
落成する獨立の學舎には教
材設備を充實されるものゝ如
く面目一新の中に教授される
生徒の氣分も新たまり従來以
上の成績を見るであらう

兔皮加工講習 鉦村農會で

石城郡鉦村農會主催の兔皮
加工講習會は出征軍人遺家族

加工講習會は出征軍人遺家族
の授産に去月廿九日から今一
月にかけて八日間同村小學校
に開催一般婦人の受講もあつ
て盛會であつた一枚六十銭
の不良皮で市價六圓五十銭
ぐらゐの立派な子供用ショ
ルや同四枚つなぎで市價三十
五圓ぐらゐの大人(男)用のく
びまきが出来る農村の副業に
好適を喜ばれてゐる

共同給施 川部村小川部部落で

石城郡川部村の小川上部部落
事實行組合では肥料不足に對
する組合長の提唱で組合員
の麥作(水田二毛と畑六町歩
に組合員の汲み肥(人糞)を基

支那單語

掃くことは同じく掃で
サオ、堀るは控でワー
列べることをバイ、書
くは寫でシエ、刀で斬
ることをカン、耕やす
ことは種でテン、包
丁で切ることは同じく
切でチエと稱してゐる

果樹品評會の 褒狀授與式

來る十四日

石城郡農會では來る十四日午
前十時から平野市郡團休事務所
樓上に於て昨年の果樹品評會
入賞者に對する褒狀並びに賞
品の授與式を舉行する

紀元二千六百年 兔草履二千六百足

平市驛前猪狩四郎氏の篤行 非常時精神の改造に

紀元二千六百年を迎へた今春
早々平市内及び其の近郷に何
所から出て來たのか昔に違つ
た兎むすびの山草履が各家庭
に散見されるので此の異物の
主を探して見ると市内新道通
り「まさご屋」の店主猪狩四郎
氏であるといふことが判つた
同氏は知友の間に知られてゐ
る熱血兒で是と見て心づいた
が最後なまねば氣がすまぬ性
來から世の常の人とは變つた
大腹を知る人に知られてをり
幾多公共の爲めにも盡してゐ
る表面と云ふよりも裏面の義
侠の士であるが輝かしい紀元
記念に因り二千六百足と云ふ
前記の草履を「兩郷ぞうり」と
名付けて配りつゝあるには驚
かされた、氏がこの學につい
て語るところは、
非常時下の經濟問題は物資
關係が最重要で物の不足に
對しては増産するか節約す
るかかの二途よりない、しか

戦地の便り

鈴木一夫

故國の紅葉を想ふ クリークの兩岸

拜復、昔々様には相も變ら
ず益々御壯健にて銃後の體
りに御慰勞下さいませ傍ら
我々第一線にある將兵のこ
とにつきまして常にいろ々
々と御心配下され誠に恐縮
の至りでありませ、特にこ
の度はまた御御重なる慰問
文のほかに會員の方々の手
になる御心遣しの慰問の品
々まで頂戴仕り誠に感謝感
激に堪へざる次第でありま
す、斯く皆様の熱誠溢るる
御慰問を辱ふし今更に平野
出身將兵の一人としての有
難さを感じ入る次第であり
ます、御厚情の程くれぐれ
も厚く御禮申上げませ
殊に慰問の辭は一句々々我
が胸を打つものあり幾回も
幾回も拜讀致し居ります
うちにいつか目頭の熱し來た
るを察し得ざるものがあり
ます、皆様の熱誠に送られ
て驛頭を出發、大陸にその
第一歩を印ししてよりす
でに一年余、十一月もす
でに半ばとなり故國の秋も散
り行く一葉一々に冬の粧と
化しつゝある事と存じます
中支の秋もいよ／＼深くク
リークの兩岸を色どる紅葉
も今まさにさかりにして故
國の秋そのまゝの風情に時
に郷愁に似たるものゝす
感じさせられます、一年前

長橋納稅組合で 銃後會へ金三圓

平市長橋町第一納稅組合で
はこの程の決算期に安會を慶
した節約の一部金三圓を市の
銃後奉公會へ寄附す

四倉町上水道 取水隧道落磐

断水で修理中
石城郡四倉町上水道部では水
源地の取水隧道の落磐トネ
ル内が數ヶ所の落磐で去る五
日から断水、修理を急いでゐ
るが復舊までには數日を要す
るらしく此の間貯水池から給
水を朝夕時間制限をもつて行
ひ飲料には事欠かせない

平野市公會堂に 健康博覽會

來る十五日から
帝國保健協會では國民保健衛
生思想普及及び作興の趣意で
本縣衛生課、同工場課、同健
康保險課、平野役所、同警察
署、平保健所、同市衛生會の
後援の下に來る十五日から二
十一日に至る一週間市公會堂

無名で、金拾圓

平野市無名氏として同市銃
後奉公會へ金拾圓を寄附した
人がある其の奇特の行爲を感
謝されてゐる

月見町納稅組合 から献金

平野市月見町の納稅組合では決
算期の祝宴を慶して金拾圓を
市の銃後奉公會へ寄附した

兒童の野兎狩

石城郡勿來町小學校では昨七
日零五以上の兒童に獵兎報國
と体位向上の目的で町内山林
の野兎狩を行つた

寫眞傑作展

平野市村屋藥局主催紀元二千
六百年奉祝の全國傑作寫眞展
覽會は東京六樓社の後援で去
る六日七日兩日市公會堂に開
催、多數の觀覽があつた

潜りて五名周旋

石城郡川部村の三澤濱野源五
郎(四)は同郡鉦村中田早坂正
敏ほか四名を大阪方面へ潜り
周旋をなした容疑で植田署に
檢査さる

廣告板で横領の 疑ひ

石城郡泉村の瀧尾佐藤道盛
は昨年春同村の驛前に泉海

水浴場の廣告掲示板をつくる
からと村内の佐藤正治外五十
余名から二百五十餘圓を集め
同看板をつくらないので此は
植田署に檢査取調べらる

行商に化ける

湯本町で捕はる
舊臘廿六日湯本町を徘徊する
學動不審の男が平野に捕はれ
山形縣赤湯村横川清(四)と自



新興ダイヤペン付
ウエル萬年筆
一、五〇以上
商工省主催「代用品
工業振興展覧會」出
品申込の各種代用品
一萬五千點中萬年筆
としてはウエルた
一點嚴重なる鑑査に
合格したる新興國策
製品
代理店 魁文堂
電話三三三

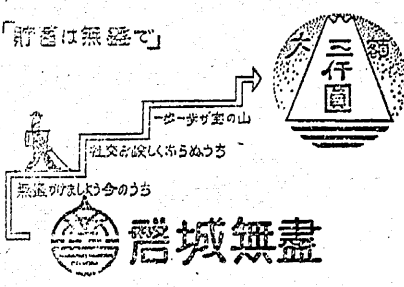
馬の脱毛

混織毛原料に 馬の脱毛(下)

洋服、オーバー地としてばかりでなく各種被服地に向けても立派なものでたゞ染色の方法は今後の研究課題となつてゐるが、茶褐色その他馬の天然の毛色を巧みに利用した生地は却つて趣味のある上品な捨て難い味を持ち歓迎されるものと見られてゐる、製織界に一大福音をもたらした、この馬の毛は春秋二期の換毛期に脱毛するものばかりで二百匁以上とれるがこれを細羊の二頭の剪毛量は洗滌して五百匁乃至六百匁となるから馬二、三頭で細羊一頭分に相当する、これがレザーにしてフェルト、天絨その他に利用されるほか毛としては空しく捨てられ馬はたゞ勞役一方のみに扱はれてゐるものが安川技手の研究で一躍製織界の寵兒として躍り出したものでこれまで採算をはなれた馬産の経済性もこれによつて大に顕著されたわけである(完)

▲素人にも出来る簡易な製炭法、木炭不足で何處でも惱んでゐる折柄素人でも出来る簡易な製炭法が宮城県亶理町の縣産業試験場長によつて案出された、その製炭法は、土の中に幅四尺、長さ六尺深さ一尺五寸位の穴を掘りその底に材料を入れ其の上蓋に周囲に燃料の炭條や藁を置いて土を被せ土管の空気が入り難くし等をつけて

一晝夜焚いて上止する、此の程の試験の結果約百廿匁の材料から卅貫前後の木炭を得たので引き続き製炭を行ひ更に研究を進めてゐる(完)



命の御用内

三三三屋

牛も豚も優良品の自慢

大小の御宴會にホール
御家族の御同伴に御座敷
いつも材料を吟味して居ります

マルトモ食堂
平市四丁目(電話一三三番)

内科、小兒科
大森醫院
醫學士 大森 勇
平市南町 電二五八番

入院 應需院

産科 醫學博士
婦人科 五十嵐雄二
平市新川町「電話三六九番」

病室増築、手術室完備

便利で
経済な 日下家政婦會の
派出婦を御利用下さい

身元確かで品行方正ですから
何を任せしてもご安心です
平市一丁目三十一番地(電話七二三番)

◎ 日下家政婦會
會長 日下すい子
會員同志の御加入(派出なき関係に裁縫や
を御誘ひ致します(編物をお教授致します))

御婚禮着付
和洋結髪
パールネックレス・ウエーブ
何卒御用命の程を
手塚美容院
平市新田町
(徒弟入用)

貸衣裳、貸か
つらを御利
用下さい

安流丸
諸毒下りの大妙薬

持石山野
電話三三三番

診療科目
一、齒科一般
保存科、補綴科、繼續架工科、
齒列矯正科、小兒科、齒槽膿漏科、
二、口腔外科
一、レントゲン科
平市田町(松月堂向ヒ)

中野齒科醫院
院長 日本齒科醫學士 中野慈次
日大醫學士 鹽谷伍郎
主任 佐藤重義
電話五〇九番

安田系統の帝國海上
帝國 海上 保險株式會社
平代理店 關内正一
事務取扱者 阿部助次郎
平市二丁目 電話一六番

西屋の西屋
西屋の西屋
西屋の西屋

西屋の西屋
西屋の西屋
西屋の西屋

根本 婦産科醫院
平市南町
根本 莊次郎
根本 貞雄
電話三四番
(入院隨時)

秋より冬にかけて 婦人洋品
シヨールと防寒具
可愛い子供さんのお帽子とお洋服
豊富陳列して御座います
平 4 ツルヤ
電140